市防災教育 4月28日(土)

所訓練

十 下布 T トは布田六 でいただい 大布 T には布田六 には布田六

説 瀬

明

という語は、崖いる羽毛下通りの

概要を訪問し

明さ郷での

布田遺跡が位置して お話をお聞きした。

の「ハケ」





組上がった簡易トイレ

布こいピや通協布

を 見

ウォ

トに加え、

さんに委員会の動向を含

協議会理事の

目

め

7

で変化をできる。



参加者で組み立て中

な

に

あ

下布田

財 れたのではないかと考構(お墓かお祭りに使さの石を多数配列したけでなく、頭ほどの大助りなどが発掘された助りなどが発掘された出製の

り

おける・

避難所

確保と管

をテ

ŧ

5

てれでもやはり小一説明書を参照しながう見本を作ってみかれるに組み立てて

1 }

練参

ン

人で、

参

加

掛

そ 説

をす

け広

る

って、

防災教

育

市職員 数

うふではその前週が

一発 28

行

今の二のの十の日

マに取り

り

難所

で、後ほど の組み立 上げられた 上げられた 0)

日

そ前しののル調

4 デ

ウ防

0)

準

備

に

取

り 掛

か つ

百

ど、生活になり、生活になり、生活になり、生活になります。

もつ古

語で、

き水が

5

 \mathcal{O}

ル雑遺

木林に

残って

せ今年中に

考使た大たの ★ は の は の は の の に あ の に あ の に あ の と が 名 と が 名 と が 名 と が 名 と が 名 と が 名 と が 名 と が 名 と が 名 と か 名 と か 名 と か 名 と か 名 と か 名 と か る と な と か る と と か る と と と か る と と な と と な と と な と と な と と な と と な と と な と と な と と 今でも の う の う の 、 食

辺者ポンでらーバ

ト職員や

田

小

そ

aマンホールトイレ わ物を落とすことが

いる

) などが

と市役所

以所から

の協

サ X 7

想定される。

こ の

ため

から直接下

早朝

ょ

り

に

お

V

災害発生時,

には上 た。

水道

わ遺きだ耳れ構さけ飾

間は

かかっ

発掘作業中の下布田遺跡

区はない。

ののご光が

理

への光が愛す

ここに住っての地域

うむ域

器や、 国縄か の文 重時は 要代約二 発掘された土製の耳飾り (国の重要文化財)

ら源

が近くにあ

欠

たと考え

れ

お話して なのです、 なのです、 も域かのつと る員遺 そ 会 跡 の保 このような集落 0) 遺跡は少 後、 存活用 ろ 国史跡 画策 で 東摩見 Ł 磯も原あ 定 布 h つ 跡 てがで地つ

友だち同士で食べながら談 実する子ども達。ゆったり静 かに食事する親子。世代を超 かに食事をするというただそれ に食事をするというただそれ に食事をするというただそれ に食事をするというただそれ に食事をするというただそれ に食事をするというただそれ たけの行為にいろいろな意味 を生む社会的背景自体にも れを生む社会的背景自体にも かするのも重要と感じる。

雰 が囲気に に。気に心を奪われてに一気に心を奪われてれた瞬間、いつぱいる調理中の食べ物の香い物の香い物の香い物の香いの食べ物の香いのではいいのばいいのばいいのばいいのばいいのばいいのばいいのばいいの話があれた瞬間、いつばいいのはいいのが、富士見町にある覚證、富士見町にある覚證

۳ ŧ





を

ヨみ、

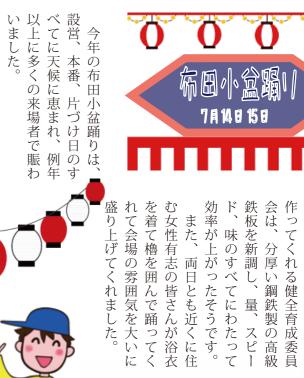
歴その

5年だそうで、

 \mathcal{O}

み、そのドラムパーカーから友人たちとバンド

新しくなった提灯





がったそうです。 9べてにわたって調し、量、スピー学い鋼鉄製の高級化る健全育成委員 雰囲気を大



新調された鉄板

中村 竜さん

平成 30 年 4 月から調 域福祉コーディネーター (CSW) として布田・染地・ 杉森小学校区域を担当し ています。これから地域 の活動に参加し、みなさ もお役に立てるように尽 力したいと思います。ど うぞよろしくお願い申し

上げます。 (なかむらりょう)

運営委員募集中!

★防災教育の日 避難所訓練

b近くの上記運営委員にお尋ねください

★年6回の運営委員会

★地域の安全安心活動



北島 正也さん

調布市社会福祉協議会 担当しています。主に 65 歳以上の方が住みや すい地域の仕組み作りに 取り組んでいます。布田 地域の特徴や魅力を皆様 ら、仕組みを一緒に考え うぞよろしくお願いいた します。サッカーが好き ラウンドにいます。

(きたじままさや)



大沼静子さん

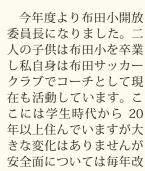
今年度約10年ぶり で地域支え合い推進員を に、こころの健康支援セ の館長として勤務し、運 ンターに異動してまいり 営委員となりました。布 ました。"ハッピータウ 田小地区は、染地に生ま ン"という響きを初めて れ、布田・染地に 20 代 聞いた際には、みなさま の熱い思いを感じまし た。いろいろな活動に参 加させていただきなが この地域が、さらに皆様 たいと思っています。ど ら、出会いを大切にして、 にとって住みよい街にな 一人でも多くの方々とお るように、微力ながらお 互いに顔のわかる関係に なので、休日は市内のグ なれますよう、よろしく す。 お願いいたします。

(おおぬましずこ)



小川 信行さん 斉藤 基規さん

今年度から染地児童館 まで過ごした私にとっ て,大切な故郷です。水 善されて住みやすい環境 手伝い出来ればと思いま だと思っています。お世 話になっているこの地区 (おがわのぶゆき) に協力出来ればと思いま



(さいとうもとき)

あの日「ローマ」が「リオデジャ ネイロ」に変わって東京五輪音 頭がこれからあちこちで聞くこ とになりそう。50年前動員で駒 沢競技場でホッケーを観戦した 五輪体験者として、五輪音頭は 今でも歌うことができるほど刻 みこまれて?いる。当時は(五 輪音頭が) 商業主義だとか色々 論議があったようだが、半世紀 たって東京では盆踊りの定番に なり、立派なオリンピックの遺

産になったようだ。(代田詠三)

いつ起こるか分からない天 変地異。予想もしない地震、 洪水、台風など。今回の台風 の進路には驚かされました。 人生初めての経験でした。こ の先、何が起こるか心配です が、自分の身は自分で守る、 これを肝に銘じ、しっかり前 を向いて生きて行こうと思う。

(中谷俊一)

http://happy-usako.jp スマホ対応で見やすくなりました







所 訓 練

のトイレの問題の難しさを実意見もあり、改めて避難所でても良いのではないかというプールのため水を使って流し

は後日、ジェイス面を撮影していた 感した。 の引渡し訓練に向かっき者の方々は、いったたり、体育館に待機してい分の訓練地震発生の時間分の訓練地震発生の時間 吸の方々を中心に、※ハ年生児童と保護者がの引渡し訓練に向か の参加のもと避難所訓練 日、ジェイコムの調布地撮影していた。この内容、訓練終了まで色々な場でルテレビの取材陣も到 またジェイコム・ かった後、 総数二三 たん児童 (11時2年) たん児童



起震車の体験コーナー

先に選ばれたため、 回 布田 スで放映さ 小は起 、震い車 つの

児童から順に震度6と7弱の 地震体験をした。順番待ちを している間は遊園地感覚だっ た子ども達だが、実際にテー だっな強い揺れに悲 飛ばされそうな強い揺れに悲 鳴をあげていた。 救命 調布消防署員によるAED、 訓練に加えて、六年生巾、非常担架による救 0) 急

大もあって、避難者名簿の 援隊12名の生徒さんのサポ り、調布南高校の防災活動 験をお願いした。また例年 は避難所トイレの組み立て 後成ト 成に始まった避難所訓練は午接隊12名の生徒さんのサポーり、調布南高校の防災活動支り、調布南高校の防災活動支験をお願いした。また例年通験をお願いした。また例年通は避難所トイレの組み立て体は避難所トイレの組み立て体 2時には無事終了

手際が良くなるを務めた当地区 験して 既が良く 避難所訓練の 今 てみて、あって欲しくイレの問題を実践的についな特に避難所にないの問題を実践的においまります。 いくごとに慣れて協副会長の 実行 これ は ない ま 反 て も 山 れ練のダ

> りて自す立な 練 を徹底して頂 つい してくれま さかに 情が ることがで 0) ま 後片 報が得る実際の たり、 た。

食糧調達班による配膳作業

の⑤加ます)家庭での% 要望】 以下に参加者の声 庭での災害対策 ⑥地区均族人数 ④避難所訓練の感。【①氏名 ②居住地区◎ ⑥地区協へ 訓練の感想 の感想

えて、

災害時の一

時避難所と

して利用できない

かとの提案

文まつり・草木染(千色工房)

の整備といったハード面、

縄

の開催といったソフ

ト面に加

経験しましたが 上の子供が6年 思います。 る。 ⑥ ことを思い出 容を広報してほし ⑥タウン誌などで活動の内のトイレを含めて入れています。⑤非常持出し袋、水・とを思い出す良い機会だととを思い出す良い機会だといます。⑥非常特出し袋、水・のが、これでいる。 Kさん (匿名希望 (4) こ の 新練は、

とは初めてだった。役に立ついたが実際に使ったりするこ中など、知識として知っては丁目③2人④AEDや三角丁目30円のではのではのではのではのではのです。 と思う。 ⑤水、 缶詰などを備蓄



難布 所南 訓高 練校 夕 皆 ッさ Ø, 皆さ h <u>F</u>

片付けもスムーズにして頂いたおかげで、参加者の皆さんがり、ごみの持ち帰段ボールの整理をしたり、ごみの持ち帰りにおかげで、か得られたと思いまが得られたと思いまがには、

物にも困らなかったのでは の周辺は昔から暮らしやす の周辺は昔から暮らしやす いところだったと思われる。 今では、都心に近く急速に 宅地化が進んだが、遺跡の 宮地には草木の緑と開けた 広場が残っており、我々周 辺の住民にとっては自然が 残る貴重な資産でもある。 (1面から続く)

の役割を担う郷土資料館と跡について、その保存継承このように身近にある遺

⑥特になし . Ġ

①広瀬亮さん②布田5 ①広瀬亮さん②布田5 の方が大切だと思った。避難所トイレの組立てた。避難所トイレの組立てた。避難所トイレの組立てた。避難所トイレの組立てた。避難所トイレの組立てなるより、リーダーを決めいるより、リーダーを決めいるより、リーダーを決めいるより、リーダーを決めいるより、リーダーを決めいるより、リーダーを決めいるよりでは、 め山てつが5

布 田遺跡

用の計画を策定しようという協働で、市民の目線で整備活

上記委員会が

来年3月まで

予定で定期的に

かれて

7月2日に開催され

・遺跡案内立て札では、郷土博物館口に開催された最



計画策定委員会の様子

分室の充実・ 近の委員会では、

1 日遺跡は、国の史跡に指定されている貴重な遺跡に指定されている貴重な遺跡に指定されている貴重な遺跡 も検討されて る

場合には安全な避難場所にな るかも知れない ても 後の整備活用の方向性に * こしていきたい。 今後折に触れて当紙面で 知って んで いただくと共に ただく もっと遺跡

①三宅秀美さん ②港区32人 ④私が住んでいる港32人 ④私が住んでいる港です。地域の方々だけでこんな活動ができるなんて、たな活動ができるなんて、たっな活動ができるなんで、ち出し袋、車、家、それにち出し袋、車、家、それにち出し袋、車、家、それにち出し袋、車、家、それにち出し袋、車、家、それにち出し袋、車、家、それにち出し袋、車、家、それにち出し袋、車、家、それにもいる。

(取材・文 藤田秀雄)

旬に西日本広域に豪雨災害 しま 被災された れた方々に心からのなた。亡くなられた方のに豪雨災害が発生し、 お見っ こ 冥福を上二百名以-舞る 申しおが上の

も水害をテ の防災講演会 ふ花園主催の この豪雨のほんの半月前に、 マ 地域ケア会議 (6月23日) とした講習であったのは、偶然のこと。域ケア会議(6月29日)が開催され、 と、 地域包括支援センタ 調布市の総合防災安全課主催 偶然のこととは言 ¤ 開催され、いずれ ちょ う

上げます。

りするとともに、 犠牲者が出て

月

え時宜を得たものだった。 講習会の内容を当地区協の環境に当てはめ、 更に西日 本豪

水の報 報道内容などを考慮すると、 F -マップ」 をもう一度見直して、次っ慮すると、市が発行して 3の三項目につ、 にいる「調布市

いて考えてみることが重要だと思った

●最寄りの避難所を確認する

を

●自宅から避難所への経路を複数考えておく(最短経路だけ

●多摩川の水位上昇を想定した防災行動の目安として「マイ タイムライン」を作っておく

あることが証明されたとも考えられる。 高知県馬路村の3日間で一千ミリ超であり、 7 概に比較することはできないが、現実に十分起こりえる想定で 多摩川流域に2日間総雨量五八八ミリを想定したマッ いる。 調布市 今回 の洪水ハザ の西日本豪雨で降水量の最大を観測が -ドマッ プは昨年 また、 月に更新されており 流域と一地点を 西日本豪雨の被 した地点は、 プとなっ

調布市の

洪水ハ ザ ドマッ

を

教

訓

を見直そう

確な予測も難し るのが現実的と考えられる。 から離れたところでも諸々 当地区協地域内でのマイタイ いため、 多摩川 の浸水リスクに対応して作成す 0) 原因で発生する浸水) ムラインは、 内水型の浸水 は 正

合もあるので、住民同士で奎豆・マンションなどが、一時避難所としての共施設に限らず、場所によっては近隣の共産設に限らず、場所によっては近隣の

の三 ップ

一階建て

0) 7

丈夫な

れ

いる公

0

利

意して

と言っ

た報道もされて

いる。

災地では、

ザ

ドマップの浸水予測地域と深さが正しかった

き行動、

マイタイムラインとは、

住民同士で確認しておくことが重要だ。

住民ひとりひとりが災害時に

取るべ

なるので、ひな型はあっは避難所まではどれだけ

立あったとしても最終的には個別のなれだけかかるのか、など住民ごとにな避難に時間のかかる家族がいるのか、

(終的には個別の検討が必など住民ごとに条件が異

予測されるのか、避難に時間のにまとめておく計画書のこと。

難するなどの行動を取るべき時期の目安を、

てるのか、避難に時間のかかる家族がいるのか、あるいめておく計画書のこと。自宅周辺ではどの程度の浸水がなどの行動を取るべき時期の目安を、あらかじめ時系列例えば荷物をまとめる・避難準備をする・避難所に避べイムラインとは、作具て として

間の水位を判断する。 いたマイタイムラインを参考に、防災行動特別警報などをこまめに収集・確認して、 る災害・気象情報、 実際に水害の危険が予測される場合には、 おきたい。 水位を確認できるサイト ・入間川など市内の主要な河川について、 なお、調布市のホー および気象庁 が網羅されて ムページには多摩川はもちろん、 から発表される注意報・警報 防災行動の実行を臨機応変に ているので、一度確認いて、現在と過去二日 あらかじめ作ってお 調布市から出され



歩道も付いた現在の通り(右)

横 40m のブロック塀がフェンスに

藤田秀雄)

れ、フェンスに取り 見くなりました。 良くなりました。 してなりました。 ではれて、見る 通れ、の

が歩道

えれました 取り北 り壊側 換さの

周辺の安全が改

拡幅前の通り